

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成19年11月22日(2007.11.22)

【公開番号】特開2006-130107(P2006-130107A)

【公開日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2006-020

【出願番号】特願2004-323141(P2004-323141)

【国際特許分類】

**A 6 3 F 7/02 (2006.01)**

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 0 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月1日(2007.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の識別情報を変動表示する変動表示ゲームを行う変動表示装置を遊技盤の開口裏面側に配設し、前記変動表示装置の表示部が臨む表示用開口窓部を形成した前面構成部材を前記遊技盤の開口前面側に配設した遊技機において、

前記前面構成部材は、

前記遊技盤の開口に嵌装され、前記表示用開口窓部よりも大きい開口部が形成され、前記遊技盤に取り付ける取付基板を有する取付基板体と、

該取付基板体の裏面側に設けられ、前方を開放した箱状であって、後方の壁に前記表示用開口窓部が形成された裏箱体と、

当該遊技機を装飾する装飾部材を備え、レンズ部材と該レンズ部材を照射する発光源とが組み付けられてユニット化された装飾ユニットと、

を備え、

前記裏箱体の前面に前記取付基板体を取り付けて、前記裏箱体と前記取付基板体との内部空間に前記装飾ユニットを収納したことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記裏箱体に、これに配置する前記装飾ユニットの凹凸形状に対応する凹凸壁部を形成し、該凹凸壁部に前記装飾ユニットを嵌合させるとともに、隣接する装飾ユニット同士に凹凸形状を付与して凹凸嵌合させたことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】